

豊かな自然に ひと・もの・まちが輝く健康都市 網走

市議会だより

第103号(令和3年5月) 発行／網走市議会 編集／網走市議会広報委員会

【もくじ】

トピックス	2 P
各会派代表質問	3 P～6 P
議案審査結果	7 P
第1回臨時会概要・新型コロナウイルス 感染症対策特別委員会の設置	8 P

市民のみなさまの傍聴をお待ちしております

次の定例会は6月15日(火)～6月24日(木)開催予定です。

※詳細につきましては、議会事務局へお問い合わせください。

■問い合わせ：TEL 44-6111(内線281・282)

中継ホームページ
はこちらから



(春の訪れを告げるミズバショウ 写真：市内在住の方より提供)

3月定例会のトピックス

第1回定例会概要

網走市議会は3月2日に開会し、22日までの日程で執り行われることになり、本会議では水谷市長から令和3年度市政執行方針、三島教育長から教育行政執行方針が示されました。

これを受けて、2日間

にわたり各会派から代表質問が行われ、その後、各会計補正予算案等の審査を行いました。その後、令和3年度予算等審査特別委員会（議長を除く15名で構成）を設置。委員長に山田庫司郎氏、副委員長に立崎聡一氏が選ばれました。令和3年度予算案として一般会計243億9687万円、介護保険特別会計など6

特別会計99億7385万円、水道事業会計49億1114万円が提案されました。新型コロナウイルスや高機能医療機器の購入、学校給食調理場の集約化など、実質5日間32時間に及ぶ質疑がなされました。

18日の取りまとめの際に川原田英世委員から、給食調理場整備事業1億1750万円を削除する修正案が出され、質疑が行われました。川原田英世委員は、予算審査をする中で給食調理の民間委託を前提とした調理場の集約には納得の行く説明が乏しい。今、結論を出すべきではない。子ども達の未来、網走の未来の

ためにもっと議論が必要だと修正案提出の理由を述べました。

それに対して立崎聡一委員、永本浩子委員、澤谷淳子委員、近藤憲治委員から小規模調理場では給食提供ができなくなる危機が迫っている。対応はどうするのかと質問が出されました。川原田英世委員より認識は共通しており、だからこそ調理

員の待遇改善や環境の改善が必要だ、体制も整える必要があると考えると答弁しました。

その後、採決が行われ、賛成が8人、反対が6人で修正案が可決されました。

22日に行われた本会議では予算等審査特別委員会委員長から修正案が可決されたと報告がありま

した。

修正案の賛成議員を代表して「議論を重ねてきたが、集約化と民間委託する提案に理解はできない。一度立ち止まって、議論をし、子ども達にとって良い体制を構築する必要がある」と賛成討論が行われました。また、附帯意見が付されました。

その後、反対討論は行われず、採決が行われた結果、全会一致により議案第1号の修正案は可決されました。

附帯意見は、①新型コロナウイルスによる影響に鑑み、必要な対策については、国や道の状況を見ながら、市独自の広範囲にわたる対応を検討、実施すること。②まちづくりは市民との協働が重

要であり、市民生活に直結する事業については、丁寧な説明、周知を行うとともに、事業の精査と情報の共有を十分に図ること。③教育委員会は原点を忘れず、未来ある子どもたちのために、人口減少の課題を認識しながら、地域との協働を進め、教育行政に取り組むこととなりました。



各派代表質問

志 誠 会

古田 純也



問) 長引く影響に数次の経済対策を打っているが、感染症対策と社会経済活動のバランスについての総論的な見解を伺う。

答) 感染症対策と経済活動のバランスをとりつつ、感染症対策の基本であるマスクの着用、咳エチケット、手洗い、密閉・密接の3密を避けるなど人々の行動変容と、各事業者における感染症対策のより一層の浸透を図ることが何より大切であると認識している。

問) ワクチン接種の準備状況について伺う。

答) 国のワクチン供給状況によって遅れが生じることも想定されるが、65歳以上に対する接種は4月下旬に開始、一般に対する接種は6月上旬に開始することで準備を進めており、接種券の発送については65歳以上が4月上旬、一般が5月中旬の予定である。

問) 当市の人口動態の新年度の見通しと過去の推計とのギャップについての見解を伺う。

答) 当市における近年の出生数は、令和元年では184名、令和2年では201人と、以前と比べ減少傾向にあり全国の妊婦届出数についてもコロナ禍の影響を受け前年比大幅減で推移していることから、今後の出生数も減少することが予想されまた、平成29年以降、転入者数も減少していることから、当市においても社会減少の傾向は続くものと思われる。出生数の減少など全国的な人口動態の傾向が当市においても例外ではないことから、推計時を超えるスピードで人口減少が進んでいるものと考えている。

問) アフターコロナを見据えた足腰の強い「自立した自治体経営」「自立したまちづくり」に向けた考え方を伺う。

答) 国の財政出動のみに依存するだけではなく、私たちも当事者意識を持つことは大切なことであり、コロナ禍での様々な対応が地域経済社会の変化を加速させているので、特にデジタル化への転換スピードが自治体経営や地域経済社会に大きな影響を与えていると考えている。自立した地域であり続けるためにこれまでと同様に、地域特性を生かした地場産業の振興や創出を支援するとともに、高速大容量の情報通信環境を整え、デジタル化社会に対応した地域づくりを進めていきたいと考えている。また、ふるさと寄附の取り組みを通じた交流人口の拡大も図りつつ財政的に自立したまちづくりを進めていく。

問) 当市としてもグリーン社会の実現に向けた動きをどのように認識し、どう地域に活かしていこうと考えるかを伺う。

答) 環境を考えたときにバイオマス発電などの再生可能エネルギーの利用は、地域の循環、つまり森里川海の循環に大変良い環境を与えるものと捉えている。温室効果ガスの抑制につながるためにも、今ある資源を有効に活用しながら取り組みを進めていくことが肝要である。

問) 当市における財政健全化についての考え方を伺う。

答) 平成19年に成立した地方公共団体の財政の健全化に関する法律による、5つの財政指標（実質赤字比率・連結実質赤字比率、実質公債費比率将来負担比率・資金不足比率）は、基準をクリアしており、また、過去の大規模事業による公債費負担が大きい状況をふまえ、ここ数年にあっては、財政調整基金や減債基金を活用した予算編成となっているが、公債費が5年程度先に償還が終わってしまうので、現況の編成の姿とは形を変えていくものと考えている。

問) 重要病害虫について伺う。

答) ジャガイモシロシストセンチュウ類の抵抗性品種である「フリア」が試験開発され、令和2年度には一般圃場で作付けが一部開始されており、令和3年度以降の本格的な作付けに向けて種イモの増殖が行われている。網走市内のジャガイモシロシストセンチュウが全て検出限界以下となるように国、道、JAと連携して、引き続き緊急防除に取り組んでいく。

問) 海産物の安定供給について伺う。

答) 水産物の安定的な供給に向けて、資源の減少の懸念のあるシジミの人口種苗生産や放流手法の開発やウニのかご養殖に関する研究支援を進めるとともに、科学的知見に基づいたモニタリング調査を継続することにより、関係機関と連携して資源管理の精度を向上させ、水産物の安定供給につなげていきたい。

問) 高齢者デジタル活用について伺う。

答) 老人クラブやふれあいの家など、様々な機会を活用してデジタル時代に向けた講座の開催を検討する。

問) 当市の未来の教育の在り方という観点から小中学校の数や配置のあるべき姿を考える作業に着手する必要があると考えるが、総論的な見解を伺う。

答) 少子化の状況を踏まえ、児童生徒への教育効果、通学距離などの児童生徒の負担、学校運営上の課題など、教育環境等への様々な影響も勘案しながら検討していかなければならないと考えている。

※その他、様々な課題に対して質問しました。

各派代表質問

民主市民ネット

川原田 英世

**問)重要課題の認識について。**

答)日本全体の人口減少の進展は依然と続いており、この人口減少が与えるインパクトの緩和をどのように図っていくか。持続可能な医療体制を整えることが重要と認識。

問)10年後のまちのビジョンについて。

答)デジタル化によるメリットを享受できる地域社会の実現と、地域の持つ様々な魅力を最大限に活かしたまちづくりを進め「豊かで美しい自然の中、ひと・もの・まちが輝き続け、誰もが健康で安心して暮らすことのできるまち」を実現していく。

問)新型コロナウイルス感染症の情報発信について。

答)市職員が感染した場合、また、市が所管する公共施設や主催する行事等で感染が確認された場合は、関係機関と調整を図り、本人からの申し出等による事実確認に基づき、可能な範囲で情報を公開・発信していく。

問)コロナ禍による生活困窮者への支援について。

答)生計の維持に困った際には、緊急小口貸付や総合支援資金の貸付制度。離職等で住宅を失うおそれがある場合は、家賃の支援を行う住居確保給付金制度がある。生活困窮における相談・申請等は、「網走市生活サポートセンター」とが担っている。

問)エネルギーと環境問題について。

答)環境に負荷の少ない循環型社会の形成をめざし、地域特性を活かした再生可能エネルギーの利活用を推進。また、地域新電力会社についての研究をしたい。

問)災害対策での課題について。

答)地震災害はもとより、近年の台風上陸・接近による大雨・洪水災害や、急激に発達した低気圧による暴風雪災害が防災対策の課題。

問)女性活躍の社会に向けた取り組みについて。

答)令和3年度には、現行の「網走市男女共同参画プラン」の計画期間が満了となるため、新たなプランを策定。

問)少子化への取り組み・支援について。

答)「新生児子育て応援祝金支給事業」を予算化。子ども1人当たり5万円を支給。

問)U・Iターンの推進について。

答)関係人口創出支援、地域おこし協力隊を継続。市内団体と連携した地元企業の情報発信、起業化支援や企業誘致など、引き続き関連機関との情報共有を行い移住促進に努める。

問)1次産業のICT化の推進について。

答)人口減少社会における担い手・雇用労働力不足を補い、省力化や作業の効率化を進める上でも有効な手段。郊外地区における光回線の整備に合わせ加速的に進展していく。

**問)「観光」の基本的な考えについて。**

答)すそ野の広い多様な観光事業からなる主要産業の一つと位置付け、多様化するニーズに対応するため、関連する多様な業種との連携や合意形成を図るとともに、受け入れ体制の整備を推進。

問)スマートシティと市庁舎建設について。

答)「効率的で情報化に対応できる庁舎」としてICTやデジタルの力を最大限に活かし、市民サービスの向上、行政運営の効率化などにおいても、デジタルを中心に据えつつ、デジタルが不得手な方の視点も持って、新庁舎の建設を進める。

問)医療提供体制確保への今後の考えについて。

答)持続可能な地域医療を確保するためには、大学医局、医療機関及び近隣自治体等との連携が必要。立地や診療科を考慮し、バランスの取れた医療提供体制の構築に努める。

問)定住自立圏での連携したごみ処理の検討について。

答)広域処理も含めた、中間処理に向けての検討を進め、資源の再生利用を進めながら、ゼロ・エミッションを目指したごみ処理を行いたい。

問)学校給食に対する市長の考えについて。

答)子供たちに安全で安心な学校給食を安定的に提供していく体制づくりが、子供たちの減少という現況を踏まえ必要であると認識。

問)学校の少人数学級の実施について。

答)少人数学級の実現については、国に要望してきた。来年度小学4年生までの学年で35人学級の取り組みが進められているところでもあるので、円滑な少人数学級への移行を図っていきたい。

問)市民の声を市政に反映する視点について。

答)「協働のまちづくり」を推進していくことが重要。市民との対話を重視し市政運営に努める。
※その他、様々な課題に対して質問しました。

各派代表質問

公明クラブ

澤谷 淳子

**問) 当市の財政状況について伺う。**

答) 市税は令和2年度と比べ約5億円減(△10.4%)の見込みだが、「地方交付税」と「臨時財政対策債」が約3億円、コロナ禍に対する国からの特別な手当として約1億6千万円を見込んでおり、市税の減収分は概ねカバーできた。新年度予算編成にあたっては、国の財政措置と合わせてふるさと寄附基金の活用により対処したところである。

問) ふるさと納税にご協力頂いた全国の皆様には感謝に堪えない。ふるさと寄附基金の見込み額も含め今後の財政状況の見通しは。

答) 令和2年度のふるさと寄附金額約20億円のうち、返礼品など諸経費を除く約10億円を積み立てる。新年度では、18億円の寄附金収入を見込んでおり、令和3年度末の基金残高は23億4千万円となる見込み。財政の見通しは、平成14年には534億円もあった市債が平成31年度末には約318億円まで大きく減少した。市の財政負担を伴わないものや臨時財政対策債を除くと約215億円まで減少してきた。コロナ禍がいつまで続くか見通せない状況ではあるが当面、財政指標の数値は横ばいで推移し財政状況は改善の方向にあると見込んでいる。

問) 56億円もあった能取工業団地の負債も、平成31年度決算で2億円を切るまでに。能取漁港整備特別会計も終止符を打てそうだが。

答) メガソーラーやバイオマス発電所誘致などにより土地売却は加速。令和2年度決算は赤字が1億9千万円に。今後も土地売却推進に努めるなど特別会計の健全化に努め、閉鎖に向けて検討を進めていく。

問) 新型コロナウイルスのワクチン接種の検討状況は。

答) 本年2月に「網走市新型コロナウイルスワクチン接種推進室」を設置し、速やかに接種を開始できるよう進めている。接種方法については、エコーセンターや旧ウエスタン等を会場とした集団接種を基本とし、平日の来場が難しい市民を想定した休日・夜間における接種、かかりつけ医での個別接種、さらに施設入所等で来場できない市民への巡回接種による対応を医療機関と調整しているところである。アナフィラキシー等への対応として集団会場での担当医師

との連携、簡易ベッドの配備や救急隊員の配置も行い、安心して接種して頂けるよう体制づくりに努めていく。

問) 市の念願でもあった大手LCC航空会社の女満別—成田線が就航した。LCCを活用した市の取り組みと今後の誘客見込みは。

答) 女満別空港圏域からの利用を促進するため、網走市民が当該路線を利用した首都圏での宿泊にも助成し、路線の早期定着に取り組んでいく。搭乗率80%で年間搭乗者数は10万4千人。今後LCCを誘客促進の新たなツールとして活用するため、道内で先行して就航する他空港圏域や北海道エアポートとの連携を密にし、新たな客層に向けたコンテンツ開発や受入環境の整備・情報発信に努める。

問) オンデマンドバス「どこバス」の実証実験の分析と今後の取り組みは。

答) 昨年8月から4か月間、予約制の「どこバス」を実証実験した。利用者数959人、1日平均7.86人で、「路線バス」より「どこバス」が便利という声が85.2%だった。新年度は郊外地域を除く市内全域に拡大して6月から3月までの10ヶ月間、実証実験する。関係機関と連携を図りながら、町内会・老人クラブ等を対象に説明会の開催などに取り組む。

問) 高齢化が進む中、大型ショベルの除雪後に残される固い雪の除雪は本当に大変。美幌町は昨年从小型除雪車とのセットで個別間口の除雪を開始。当市でも研究・検討を。

答) 間口除雪で大変ご苦勞をおかけしていることは認識している。高齢者のみの世帯への除雪サービスも行っているが、課題解決に向けて先行自治体の取り組み事例を参考としながら研究していく。



問) 廃棄物処理の紙おむつ等については、新年度から大空町の焼却施設で減容化することになった。将来的には更に広域での焼却も必要になると考えるが展望は。

答) 令和3年度に、現在の枠組みに斜里郡3町を加えた1市4町での定住自立圏域の拡大に向けて取り組む。また、大空町が更新を計画している中間処理施設は、美幌町を含め斜網地区で広域利用できないか、今後検討をすすめていく。

※その他、様々な課題に対して質問しました。

各派代表質問

日本共産党議員団

松浦 敏司



問) 菅政権と令和3年度政府予算案の評価について、政権発足当初は高い支持率であったが、日本学術会議への人事介入、コロナ対策やGOTOキャンペーン、長男が総務省の官僚への接待が問題になり支持率低下になっていると思うが、菅政権の評価について見解を。

答) 昨年9月に内閣総理大臣に菅義偉氏が就任した。菅総理は、アベノミクスを継承しデジタル庁の創設や各省庁の縦割りを打破する行政改革を打ち出し2050年までにカーボンニュートラル宣言も行われた。コロナ危機で停滞した社会で気候変動を抑え、生態系を守りながら立て直していくグリーン・リカバリーに力を入れる姿勢を打ち出した。今後、国と地方が十分に連携しながら取り進めていただきたい。

問) 国の新年度一般会計予算案は、106兆6097億円と当初予算としては過去最高額。しかし、コロナ感染拡大防止の予算は5兆円の予備費だけ。社会保障費では自然増を1300億円も削減し、一方、デジタル化推進では81億円を盛り込み、情報システム予算は2986億円を計上し、各省庁の電子システムの統一を目指している。軍事費は、5兆3235億円で最高額を更新し7年連続である。この菅政権の予算案についての見解を。

答) 9年連続で過去最高を更新する予算となる中、税金は前年度当初より6兆円減少し、公債費が11兆円増加するなど、改善傾向にあった公債依存度も前年度より9.2ポイント増の40.9%と急激に上昇し、国債残高もGDPの1.8倍と過去最高水準になる見込みである。地方にとっては、新たに新型コロナウイルス感染症対策地方減収補填特別交付金や特別減収対策債の発行、交付税算定で「デジタル社会推進費」が新設されるなど、地方財政に対して一定の配慮がなされていると受け止めている。

問) 人口減少等による財政の見通しだが、ここ数年の人口減少は想定を超え減少している。2019年度決算から財政状況を見ると財政指標に与える影響が大きいと思うが、将来負担比率や類似市との比較など見通しを示してほしい。

答) 類似市との比較は、32市中22市が過疎債を発行できる過疎団体として指定されている。合併団体へは合併特例債などがあり、当市の財政

指標とは異なるため、単純に比較することはいえない。近年ふるさと納税制度により、この6年間で67億円の寄付がある。財政状況を図りながら政策を進めてきている。将来負担比率や実質公債費比率などの財政指標の多くの分母は、経常的な一般財源の額であり、人口減少や公債費に対する交付税の減により小さくなる傾向にあることから財政の硬直化を指摘する声もあるが、財政状況としては改善しつつあり数値も横ばいで推移すると考える。

問) 核兵器禁止条約の発効が、今年1月22日になった。唯一の被爆国である日本政府が、署名・批准していないのは理解できない。平和都市宣言をしている網走市長として署名・批准するよう求めるべきだ。

答) 網走市は、平成3年9月17日に核兵器の廃絶と戦争の根絶を世界に訴え、美しい郷土と豊かな文化を守り、平和な未来を子どもたちに引き継ぐため、恒久平和を願い、明るく幸せな市民生活を守るため「平和都市宣言」をした。当市が加盟する「平和首長会議」において、令和2年11月20日付けで内閣総理大臣に「核兵器廃絶に向けた取組の推進について」と題して要望書を提出した。要望書では、政府に一刻も早く核兵器禁止条約の締約国となること、核兵器禁止条約の締約国会議にオブザーバーとして参加し、核保有国と非核保有国の橋渡し役を担い、核軍縮のリーダーシップを発揮するよう要望している。

問) 学校給食の主人公は児童・生徒である。調理場の集約化、一部民間委託、配送業務で時間がかかるなどは、子どもたちのことを最優先に考えて、現行体制を維持すべきだ。

答) 給食調理場の運営は、労働需給のひっ迫により調理員の確保が難しくなっていること、退職により経験のある職員が減るなど、民間の力を借りて安全・安心な給食を継続するため一部民間委託の考えは変わらない。

※その他、様々な課題に対して質問しました。



第1回臨時会(1月29日)の議決結果について

															志 誠 会			民主市民ネット				公明クラブ		日本共産党議員団		無所属				
議案と議決結果 (○：賛成、×：反対) ※議長は、議決に加わりません。															石垣直樹	小田部照	近藤憲治	立崎聡一	古田純也	金兵智則	川原英世	平賀貴幸	山田庫司郎	澤谷淳子	永本浩子	松浦敏司	村椿敏章	工藤英治	栗田政男	
○議員別議案賛否一覧表（賛否の分かれた議案）																														
議案第 2 号 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の設置について															○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	

第1回定例会(3月)の議決結果について

	志 誠 会					民主市民ネット				公明クラブ	日本共産党	無所属			
議案と議決結果	石垣直樹	小田部照	近藤憲治	立崎聡一	古田純也	金兵智則	川原英世	平賀貴幸	山田庫司郎	澤谷淳子	永本浩子	松浦敏司	村椿敏章	工藤英治	栗田政男
(○：賛成、×：反対) ※議長は、議決に加わりません。															
○議員別議案賛否一覧表（賛否の分かれた議案）															
議案第 3 号 令和 3 年度網走市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
議案第 4 号 令和 3 年度網走市網走港整備特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
議案第 6 号 令和 3 年度網走市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
議案第 7 号 令和 3 年度網走市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
○全会一致で可決した議案															
議案第 1 号 令和 3 年度網走市一般会計予算 (修正部分及び修正部分を除く原案)						議案第22号 網走市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について									
議案第 2 号 令和 3 年度網走市市有財産整備特別会計予算						議案第23号 網走市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例制定について									
議案第 5 号 令和 3 年度網走市能取漁港整備特別会計予算															
議案第 8 号 令和 3 年度網走市水道事業会計予算															
議案第 9 号 令和 3 年度網走市簡易水道事業会計予算						議案第24号 網走市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について									
議案第10号 令和 3 年度網走市下水道事業会計予算						議案第25号 網走市麦類乾燥調製貯蔵施設条例の一部改正について									
議案第11号 網走市常勤の特別職に属する職員の給与に関する条例及び網走市常勤の特別職に属する職員の給与に関する条例の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について															
議案第12号 網走市介護保険条例の一部を改正する条例制定について															
議案第13号 令和 2 年度網走市一般会計補正予算						議案第27号 市道路線の廃止及び認定について									
議案第14号 令和 2 年度網走市国民健康保険特別会計補正予算						議案第28号 令和 2 年度網走市一般会計補正予算									
議案第15号 令和 2 年度網走市網走港整備特別会計補正予算						議案第29号 網走市基金条例の一部を改正する条例制定について									
議案第16号 令和 2 年度網走市能取漁港整備特別会計補正予算															
議案第17号 令和 2 年度網走市介護保険特別会計補正予算						議案第30号 網走市副市長の選任について									
議案第18号 令和 2 年度網走市後期高齢者医療特別会計補正予算						議案第31号 網走市教育委員会教育長の任命について									
議案第19号 令和 2 年度網走市水道事業会計補正予算						議案第32号 網走市監査委員の選任について									
議案第20号 令和 2 年度網走市簡易水道事業会計補正予算						議案第33号 網走市公平委員の選任について									
議案第21号 令和 2 年度網走市下水道事業会計補正予算						諮問第 1 号 人権擁護委員候補者の推薦について									

トピックス

令和3年第1回臨時
会が開催

令和3年1月29日第1回臨時会が開催。補正予算額は3億1100万円の議案が市側から上程され、総務経済委員会、文教民生委員会において審議され、総務経済委員会においては新型コロナウイルス感染症対策事業として行いました。東京農大学生支援金給付事業、プレミアム付飲食券事業、プレミアム付商品券事業、社交飲食店支援金給付事業、農大線密集対策事業が、それぞれ決算見込み反映に伴う減額補正。

40万円。
文教民生委員会においては、市民集会施設感染症対策事業、障がい福祉サービス事業者感染症対策支援金給付事業、介護サービス事業者感染症対策支援金給付事業、子育て世帯支援金給付事業、ツインデミック予防対策事業、生ごみ堆肥化センター能力増強事業、修学旅行キャンセル料等助成事業の各事業決算見込み反映に伴う減額補正。

新規事業として新型コロナウイルスウィルス感染症予防資材整備事業5000万円、新型コロナウイルス感染症検査事業（感染症検査への助成）4400万円、新型コロナウイルスワクチン接種事業（国の総合経済対策）4600万円、小学校貸出用通

信機器整備事業（モバイルルーター購入）、中学校貸出用通信機器整備事業（モバイルルーター購入）、中学校改修事業（第二中学校加圧給水装置更新工事）、などが審議されました。特に宿泊需要喚起割引クーポン事業においては、開始時期について様々議論が交わされ感染対策と観光、経済への影響について多くの質疑が行われました。

また、新型コロナウイルススワクチン接種事業についての説明、予算計上がなされ国と連携しつつ市民の安全・安心に向けた一大事業の概要が明らかにされました。補正後の令和2年度予算総額は314億4300万円となりました。

新型コロナウイルス
感染症対策特別委員
会が設置

第1回臨時議会において、民主市民ネット川原田英世議員より発議があり、議会としての新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の設置が求められました。

設置目的は、新型コロナウイルス感染症から市民の生命及び健康を保護し、市民生活及び経済に及ぼす影響が最小となるようにするべく、情報の収集及び発信、国、道、市の施策・予算に対する提案・要望、さらには各政策の検証を必要に応じて行うとされました。

しかしながら一部議員からは、文教民生委員会での対応、必要に応じて所管事務調査を実施しての対応で十分とし、新型

コロナウイルス感染症対策特別委員会の設置について必要無いとの意見がありました。賛成派からは、議案としての案件は所管委員会で対応できるが、それ以外の案件については特別委員会で情報収集、調査を行うべき、全議員での対応が必要、議会として一つにまとまりコロナ対策に取り組むべきなどの意見があり、最終的には賛成多数で可決しました。

新型コロナウイルスの情報に関して、市民から多くの不安の声があり、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会委員長に就任した山田庫司郎委員長からは「ワクチン接種により終息に向けて全力で取組む」との挨拶、市民の安心・安全に向けて議会側が動き出しました。